

| | |
|------------------|---|
| Title | 執筆者紹介 (掲載順) 編集後記 |
| Sub Title | |
| Author | |
| Publisher | 慶應義塾福澤研究センター |
| Publication year | 2006 |
| Jtitle | 近代日本研究 (Bulletin of modern Japanese studies). No.23 (2006.) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20060000-0355 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆 者 紹 介 (掲 載 順)

別府 昭郎 明治大学教授

坂本 辰朗 創価大学教授

吉川 卓治 名古屋大学助教授

小宮山 道夫 広島大学文書館助教授

谷本 宗生 東京大学史料室室員

柄越 祥子 慶應義塾福沢研究センター・慶應義塾一五〇年史資料集調査員(非常勤)

武藤 秀太郎 日本学術振興会特別研究員 (FD)

永井 英治 南山大学助手

小野 修三 慶應義塾大学教授

西沢 直子 慶應義塾福沢研究センター助教授

長南 伸治 慶應義塾福沢研究センター・慶應義塾一五〇年史資料集調査員(非常勤)

編 集 後 記

本誌は、一九八五年に創刊されて以来、福沢諭吉を中心とする近代日本研究の発表の場として、内外の研究者の研究成果を掲載してきた。近年は、この伝統をさらに強化するため、一定のテーマを定め最前線で活躍する研究者の協力を得て「特集」を組む方針を採っているが、本巻では、「大学史研究と大学アーカイブズ」を特集した。当センターを含め、大学アーカイブズのあるべき姿やその将来を考える上で、必須のテーマと考えたからである。

今回の一般投稿論文は、査読の結果、三編の掲載が認められた。応募者は七名にのぼったが、残念ながら厳しい結果に終わった。今回は、オリジナリティに富む論文が、多数投稿されることを期待したい。また、今回の資料紹介は、当センター発信の新資料だけでなく、三氏による新資料紹介記事も併せて掲載した。新発見の資料は学界共有の財産として貴重なので、今後とも積極的に掲載していく方針である。

なお、次巻(第二十四巻)並びに次々巻(第二十五巻)は、「慶應義塾創立一五〇年・慶應義塾福沢研究センター創設二五年」を大々的に特集する。できれば、一般投稿論文も、特集テーマに沿うものが多くなることを期待している。